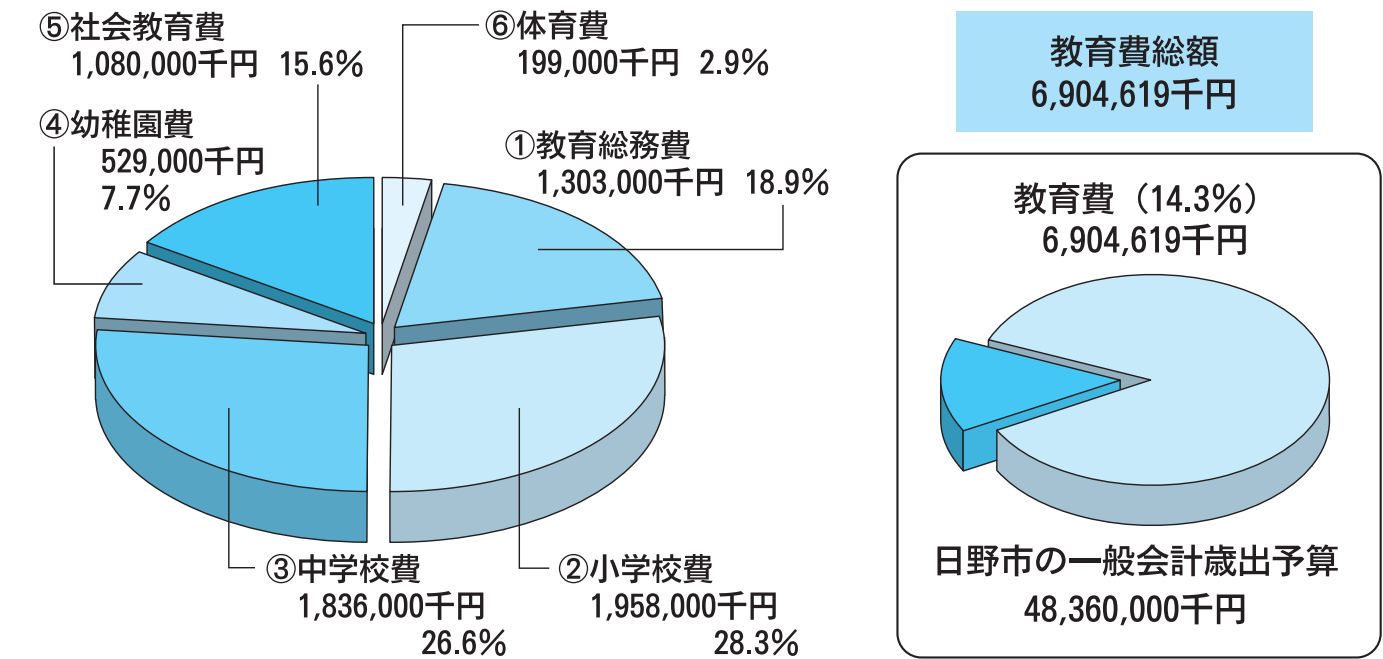


紙面から	
平成21年度教育予算と事業のあらまし	1
特別支援教育、教育基本構想	2
新しい校長先生の紹介	3
郷土資料館年間行事	4

教育予算の構成



- 平成21年度教育目標より
- 第1項目 確かな学力の向上
- ・ICT活用研究委員会実践部会によるICT活用の推進(室・セ)
 - ・サポーター教員の配置(学)
 - ・学校図書館連携システム運用支援(図)
 - ・授業力の向上を目指した校内研究、OJTの推進(学)
 - ・教育センターを核とした理科支援員制度の推進(セ)
 - ・実験観察融合型デジタル教材活用共同研究の推進(室・セ)
 - ・理科教材備品の充実(庶)
 - ・学力調査の分析、授業改善プランの作成(学)
 - ・「土曜の広場」・「土曜の理科」実施(文スポ)
 - ・日野つ子体力UP事業の実施(文スポ)
 - ・クッキングギッズ・スウィートギッズ他(公)
- 第2項目 豊かな心の育成
- ・田んぼの学校他(公)
 - ・エコライフクラブ、雑木林探検隊他体験学習の開催(郷)
 - ・あいさつ運動の推進(市長部局と連携)
 - ・教育センターの相談機能の充実(セ)
- 第3項目 すいやかな体の育成
- ・食物アレルギーに関する学校生活管理指導表の活用(学)
 - ・栄養教諭の配置(学)
 - ・テニスマナー教室・味覚教室(学)
- 第4項目 児童の要請にこたえる力の育成
- ・外国人英語指導補助員の派遣(学)
 - ・英語活動推進委員会、カリキュラム作成(学)
 - ・メディアアコーディネータ制度による学校支援(室)
 - ・テクニカルコーディネータ制度による管理体制強化(室)
 - ・ひのつ子エコアクションの推進(庶)
 - ・子ども環境講座の開催(公)
 - ・プレゼンテーション大会の実施(室・学)
- 第5項目 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- ・就学相談委員会による適正就学の充実(特)
 - ・幼稚園に保育カウンセラー配置(学)
 - ・特別支援教育就学奨励費による保護者への経済的支援(庶)
 - ・特別支援教育コーディネータ研修の充実(特)
 - ・情緒障害学級の開設(東光寺小・日野第二中)(特)
 - ・リソースルームの拡充(特)
- 第6項目 人間形成の基礎を培う幼児教育
- ・就学前コアカリキュラムの実施(学)
 - ・保育カウンセラー制度の充実(学)
 - ・Webサイトによる幼稚園の情報提供(学)
- 第7項目 連携を生かした特色ある学校づくり
- ・研究奨励事業による授業研究の推進(学・セ・室)
 - ・全校で小・中連携の取組(学)
 - ・学校Webサイトの積極的な発信(室)
 - ・校庭の芝生化の推進(庶)
 - ・平山小コミュニティスクールの運営支援(学・庶)
- 第8項目 子どもの安全確保
- ・「ひのつ子安全パトロール」による下校時、放課後の安全確保(学)
 - ・不審者・防災情報メール配信事業の実施(庶)
 - ・スクールガードボランティア事業の充実(庶)
 - ・日野警察による交通安全教室の開催(学)
 - ・学校への不審者侵入対策として学校管理員の配置(庶)
- 第9項目 信頼される学校経営と教職員の養成
- ・学校評価の実施・学校Webサイトでの公開(学)
- 第10項目 安全で快適な学校施設の展開
- ・「選べる学校制度の見直し(学)
 - ・日野第四小学校増築工事(庶)
 - ・旭が丘小学校屋内運動場耐震補強工事(庶)
 - ・安全でおいしい水プロジェクト(日野第四小直結給水化工事)
 - ・日野第一中学校改築工事(庶)
- 第11項目 ニーズと課題に応える教育行政の推進
- ・ひの21世紀みらい塾(文スポ)
 - ・教育委員会評価の実施(庶)
 - ・Webサイトによる事業の取組状況の積極的な発信(庶・学・室)
 - ・高校生奨学金による経済的援助(庶)
 - ・就学援助制度による保護者への経済的支援(庶)
- ※(庶)庶務課(学)学校課(セ)教育センター(室)ICT活用教育推進室(特)特別支援教育推進チーム(文スポ)文化スポーツ課(公)公民館(図)図書館(資)郷土資料館

平成21年度教育予算と事業のあらまし

平成21年度の市の予算は、483億6千万円です。一般会計予算のうち教育費は、約69億500万円です。教育予算は、昨年度に比べると、約16億7197万円の減額となりました。これは、七生緑小学校の大規模改修工事等の完了や、日野第一中学校校舎改築がいよいよ完成に近づいたために支出額が減額してきたこと等が大きな要因です。

今年度の教育施策は、昨年度策定された「日野市教育基本構想」に則って、教育目標を定め、各事業を推進していく考えです。主な推進施策は以下のとおりです。

ICT活用教育 充実のために

日野市教育委員会教育部
ICT活用教育推進室長
田口 克敏



早咲きが心配された桜の花も各学校・園の入学・入園式に合わせるかのように、満開でスタートした平成二十一年度。四月一日に五十嵐俊子前室長の後任として着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

日野市は、ICT活用教育の分野において、物的・人的その他さまざまな環境を整備し、今はわが国を代表する最先端の自治体です。

また、子供たちにとって、より分かりやすく、充実した授業を実践し、学力の向上のために日々努力する教職員が、保護者・地域の方々を始め多くのご協力により支えられている素晴らしいまちでもあります。

一方で、多摩川や浅川とそれらから別れて流れる水流に囲まれた低地から、緑濃い山並みの丘陵まで、市内のあちこちに見られる変化に富んだ自然環境が、子供たちの豊かな情操を育む恵まれた環境となっている「ふるさと」でもあります。

この地で育つ子供たちである「ひのつ子」の言葉に込められた願いをひとつひとつ実現していくために、一所懸命日々取り組んでいる学校が、ICTを活用してさらに充実した教育活動を展開できるよう支援してまいります。

日野市の特別支援教育

平成21年度

特別支援教育の取組み

市では、特別支援教育の理念である「児童・生徒一人ひとりの教育的なニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善するため、適切な指導及び必要な支援」を行っています。

今年度は、リソースルームの拡充、特別支援学級の開設を行い、特別支援教育の充実を図っているところです。

リソースルームの拡充

今年度は、小学校14校で実施し、リソースルームは、発達障害等によって通常の学級での学習につまずいている児童を支援するための教室です。

平成20年度は小学校9校で事業を進めてまいりましたが、今年度は、新たに5校で開設し、小学校14校で実施します。

リソースルームは、個々に応じた指導でそれぞれの子どもたちのつまづきを少しずつ改善していく場です。目標はやればできるという達成感を体感することで学習意欲の向上に結びつけていくことです。



(特別支援教育推進チーム)

「学校教育基本構想」

発表会

盛況のうちに開催

去る3月14日(土)、市民会館小ホールにおいて、「教育のまち 日野(日野市学校教育基本構想)」発表会を開催しました。発表会には、学校・行政関係者や多くの市民の皆様の参加を頂き、明星大学人文学部・森下恭光教授のご講演と今後の日野市の学校教育のあり方についてともに考えるパネルディスカッションが行われました。(写真)

今後、教育委員会は、保護者や地域の皆様とともに「教育のまち 日野」を目指していきます。



(学校課)

「選べる学校制度」を

円滑に継続させるために

☆定員制の導入

「選べる学校制度」は、制度導入から9年目を迎え、市民の間に定着した制度として運営されています。制度の実施により、各学校では、地域に根ざした「特色ある学校づくり」や「開かれた学校づくり」が推進され、学校から地域への情報発信も行なわれるようになりました。

また、一方、一部の地域では一時的な子ども人口の増加がみられ、大規模化が進んでいる学校もあり、増築等による対応を行なっているものの、学校運営上それにも限界があり、通学区域外からの選択希望者全員を受け入れる余裕がなくなりつつあります。

教育委員会が平成12年6月に策定した『「選べる学校制度」実施計画』では、「基本的には抽選方式などの定員制の導入は採用しない」としました。しかし、子ども人口の減少がみられた実施計画策定時と状況が変わってきているため、選べる学校制度を今後とも継続して円滑に運営できるよう、定員制を導入することを検討しています。

1、基本的考え方

- ① 通学区域内の学校を希望する児童・生徒は、全員受け入れます。
- ② 学校運営上、施設状況に、なお余裕がある場合には、定員(受入可能人数)を定め、通学区域外からの選択希望者を受け入れます。
- ③ 通学区域外からの選択希望者が多く、定員を超える場合



には、公開抽選とします。

2、導入の時期

平成22年度の入学予定者からの実施を予定しています。

学区域の一部変更

日野第一小学校と日野第四小学校の通学区域の一部で、潤徳小学校への通学を可能としていた調整区域(石田1、2丁目、万願寺5、6丁目38番地まで※図参照)の学区域変更を検討しています。

- ① 調整区域を、学校選択の希望実態に即して、潤徳小学校の通学区域に変更します。
- ② 調整区域から潤徳小学校に通学し卒業した児童が三沢中学校を選択していることから、調整区域の部分を、日野第一中学校から三沢中学校の通学区域に変更します。
- ③ 平成22年度の入学予定者より適用することを予定しています。

(学校課)

小・中学校への奇贈のお礼とご報告

富士電機ホールディングス株式会社様より、環境問題を取り上げた書籍『たべものがたり』を日野市立小・中学校及び日野市立図書館に寄贈していただきました。昨年、一昨年とご寄贈いただいた『いきものがたり』『みずものがたり』の続編です。

カラフルな挿絵、写真や漫画を取り入れて、子どもにも親しみやすい本となっています。

また、現在市で取り組んでいる「食育」の教材としても役立ちます。

ありがとうございました。

七生緑小学校校舎が装いも新たに

昨年は、旧百草台小学校校舎を仮校舎とし、その間に旧三沢台小学校校舎及び体育館の耐震補強工事、大規模改修工事、校舎の増築工事を行ってきた七生緑小学校校舎は、3月に完成し、春休みに新校舎に引越しました。明るく、温かみのある教室となり、パソコン教室や図書室も新しくなりました。これからの学校生活が楽しみです。



落ち着いた木目調の内装の教室。明るい雰囲気です。

七生緑小学校に設置されてい

る「あおぞら学級」も同時に新校舎に移りましたが、「つくし学級」は、南平小学校に設置されることとなりました。

電話番号は変わりません。

また、仮校舎を使用する間、通学バスを運行してきましたが、東電子園様、フォルクス百草園店様、すしおんど百草園駅前店様には、停車場所をご提供いただき、大変お世話になりました。御礼申し上げます。

(庶務課)



耐震補強工事等が完了した校舎

新しい校長先生の紹介

4月1日に学校に新しく着任及び転任された校長先生を紹介いたします。

生徒一人一人を大切に

日野市立三沢中学校
統括校長 正留 久巳



三沢中に着任した正留久巳です。三沢中の伝統を引き継ぎ、更に発展するように全力をあげる所存です。前任校は平山中で、同じ浅川の川沿いにある本校への異動となりました。日野市へ教頭として異動してきてから旧七生村にある4校の中学校を経験することになりました。縁を感じます。三沢中の周りは、桜の木々が多くあり、満開の桜は美しく見事な風景でした。「生徒一人一人を大切にし、鍛え可能性を伸ばす学校」を目指し、子ども達の秘められた可能性の一つでも多く引き出すよう頑張っていきたいと思ひます。

日野のすばらしさに感動

日野市立仲田小学校
校長 千代谷 和紀



この四月に八王子の長池小学校からまいりました千代谷和紀と申します。日野市は、心地よい自然が残っていて、とても穏やかな気持ちで過ごしやすい町だと感じています。特に仲田小学校の近隣の地域の方は、学校教育に対する支援体制も素晴らしい、子ども達も素直で何事にも前向きです。この子ども達のような、教職員一同協力しあひながら伸ばしていきたいです。ぜひ皆様方のご支援を、よろしくお願い申し上げます。

思いやりのある心

日野市立日野第二中学校
校長 尾形 斉



この度日野市立三沢中学校より着任してきました、尾形 斉と申します。今までの経験を活かし、今年度から二

ひのっ子とともに

日野市立日野第五小学校
校長 竹山 弘志



私の前任校の波浮小学校は、波浮港や三原山、大島桜、椿まつりなど有名な

たくましく

清らかな平中生

日野市立平山中学校
校長 秋山 譲児



日野第四中学校より転任してまいりました。

西に見える富士の高峰のようにたくましく、浅川の流れるように清らかな、平中生を育てていきたいと夢が広がります。保護者・地域の皆様方にお力添えいただき、教職員力を合わせ、この平山の地に根ざした学校経営をしてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

自信に溢れ、地域を愛する

明るい子供たち

日野市立平山小学校
校長 五十嵐 俊子



着任して1ヶ月ですが、子ども達と先生方の笑顔があふれている平山小学校を自慢に感じ、地域の方々の温かい支えに感謝している毎日です。自信に溢れ、地域を愛する明るい子供たちを育てていきたいと考えています。保護者、地域の皆さんが誇りに思ってください。コミュニケーション平山小学校を目指します。

楽しく充実した学校

日野市立日野第四中学校
校長 千葉 正



校長の千葉正です。4月1日付で着任いたしました。

た。地域や保護者の皆様にあたたいご支援、ご協力をいただいていることを強く感じています。明るくあいさつができ、当たり前のことが当たり前でできる学校を目指し、元気に、楽しく充実した学校生活を送れるよう日野四中の教育活動に取り組んでいきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

子供たちの豊かな成長

日野市立日野第六小学校
統括校長 古宮 キヨ子



前任の校長佐藤清隆先生がご退職され、後任として、日野第六小学校に着任いたしました。

本校は、駅周辺の商業地や大きな企業も学区に存在しているにもかかわらず、大変落ち着いた地域です。校門をくぐると、歴史を物語る大木の桜やガーデニングサークルの皆さんが丹誠込めて育ててくださった草花が迎えます。さらに、40周年記念で整備されたおたまたま池は、本校のシンボルとして何十年もの間、六小の子供たちの成長を見守り続けています。温かいご家庭ややさしい地域で育つ子供たちの豊かな成長が、あふれており、この伝統を引き継ぎ、新たな第一歩を踏み出すべく惜しまず努力をして参りたいと存じます。

ひのっ子ががんばっています

大坂上中学校

毎朝、読書

本校は、毎朝、8時30分から10分間、全校で読書を行っています。本は、各自で興味のあるものを持っています。この朝読書を通じて、読書へ興味が出てきた生徒も少なくありません。昨年度は1年間225冊、3年間で608冊の本を図書館で借りて読んだ生徒がいました。



不審者情報メール配信サービス

あらかじめ登録していただいた携帯電話やパソコンのメールアドレスに、不審者出没や災害発生等の情報を配信するサービスです。また、お子様の通う学校や学童クラブからの情報も受け取れます。

提供する情報

- ① 左記から受信を希望する情報をお選びいただけます。
- ① 不審者情報
- ② 防災情報
- ③ 学校生活情報 および 学童クラブ情報

登録手順

- ① 登録用メールアドレスに空メールを送信します。
- ② 数分後に返信メールが届くのでメール内のURLをクリックします。
- ③ 登録フォームが表示されるので質問項目に答えて「確認」ボタンを押してください。
- ④ 確認ページで間違えがなければ「登録」ボタンを押してください。数分後に登録完了メールが届きます。

削除手順

- ① 削除用メールアドレスに空メールを送信します。



登録内容更新手順

- ① 更新用URLにアクセスし、自分のメールアドレスを入力します。
- ② 数分後に登録削除完了メールが届きます。
- ② 返信メールが届くのでメール内のURLをクリックします。
- ③ 現在の情報のチェックを外し、情報のほしい項目にチェックを入れ直します。



※登録・削除・更新の手順は、日野市ホームページでもご覧いただけます。

利用条件・注意事項

- ・ご登録いただいた情報は本サービス以外の目的では使用しません。
- ・本サービスは契約業者のシステムを利用して行います。ご登録いただいた情報は、業者が24時間有人監視しているデータセンターに保管されます。
- ・情報提供料は無料ですが受信料金等は自己負担となります。
- ・メールの遅延等が生じて一切の責任は負いかねます。
- ・配信したメールが連続して届かなかった場合は自動的に登録を解除することがあります。
- ・メール受信後、情報内容についての問合せはご遠慮下さい。

登録用メールアドレス

hino-reg@mlreg.tricorn.net

バーコードリーダー付きの携帯電話の方はQRコードを読み取ってそのまま送信。



※お使いの携帯電話で「指定受信」をされている方は空メール送信前に、school-haisin@city.hino.lg.jp
bousai-haisin@city.hino.lg.jpというアドレスを受信可能に設定してください。

郷土資料館でふるさと日野を楽しみませんか

郷土資料館は、子供たちがふるさと日野と出会う機会を提供しています。秋の特別展、年3回の企画展、体験学習会や講座などを開催し、ふるさと日野の自然や歴史について様々なことを伝えています。

企画展(会場は郷土資料館)

①土の中からのメッセージ

4月10日～7月12日
市内で発掘された遺跡から出土した土器・石器などの遺物を展示します。

②「ほどくぼ小僧・勝五郎生まれ変わり物語2009」

7月18日～11月23日

地元程久保に伝わる「生まれ変わり物語」は、江戸時代に大変話題となりました。平成20年度の特別展開催の後、新たな調査成果を加え、この不思議な物語について紹介します。

③くらしの道具今・昔

11月28日～4月4日

昭和初期から戦後まで暮らしを支え、役立って来た生活道具をてがかりに、当時の人々のくらしを考えます。

特別展「七生丘陵の自然とくらし」10月3日～12月13日(会場は新選組のふるさと歴史館)



自然の中にはたくさんの発見が。
南平丘陵公園の雑木林での自然観察会

文化スポーツ課(生涯学習係)からのお知らせ

学校支援地域本部事業

小学校17校でボランティアを募集しています。

●学習ボランティア(例)パソコン指導など教師のお手伝い)

●登下校時の安全確保のボランティア(例)登校時や下校時の通学路で児童の安全確保や見守りのお手伝い)

●環境ボランティア(例)校舎の修繕や校庭の花壇などの整備のお手伝い)

●運動会や学芸会等の学校行事ボランティア(例)自転車

の整理や学校付近の交通安全指導のお手伝い)などに協力いただける地域の方々に募集しています。

詳しくはお近くの学校や文化スポーツ課へご連絡ください。

平成21年度

日野市家庭教育学級

家庭教育に関する学習を促進するため、各学校の担当者が中心となり、企画・運営している事業です。毎年、学校の先生方や地域の方々にもご協力・ご参加いただき様々な内容の学級を実施しています。今年度も保護者の方々の積極的なご参加・ご協力をお願いします。



子ども体験事業のご案内

教育委員会文化スポーツ課では、「子どもの居場所」づくりを目的とした子ども体験事業科

学コース「土曜日の理科室」を実施しています。「ひのっ子」た

ちの好奇心や想像力を培い、異学年や他の学校の子どもたちと創る学びの仲間作りも応援しています。市内の小学生が対象で、

いくつかのプログラムをコースで組み立て、年間を通して行ないます。

●科学コース「土曜日の理科室『宇宙の学校』」

JAXA(宇宙航空研究開発機構)との連携プログラムで実施。対象は5・6年生です。



土曜日の理科室
「宇宙の学校」の様子

(文化スポーツ課)

日野市立学校の校章・校歌を一冊にまとめました

幼稚園・小学校・中学校の校章・校歌は、その学校の教育理念や、地域の風景、歴史、文化などが詠い込まれた、地域文化の貴重な資料です。

日野市では、平成14年から平成20年にわたって、幼稚園・小

写真集

「まちかど写真館 in ひの」が刊行

日野図書館と住民が一緒にまちの再発見活動をしている「日野宿発見隊」が編集したものです。日野宿発見隊は旧日野宿地域に残る文化や歴史・自然の再発見をしようと日野図書館の呼びかけで地元の人が集まり、3年前から活動しています。これまで写真の収集のほかにも、まち歩き会や子ども発見隊による日野用水であそぼう、夏まつりなどさまざまな活動が展開されています。今回刊行された写真

集は50年前と今の日野のまちの移り変わりを見比べることができ、また住民の思い出話も載っていて、貴重な記録集となっています。一年以上かけて写真の収集と聞き取り調査を続けてきた日野宿発見隊の活動の成果が凝縮されています。

ご希望の方は日野図書館まで
電話 042-584-0467



学校の統廃合が行なわれました。文化スポーツ課では、市立学校の統廃合が一段落したこの時期に、日野市立学校の校章・校歌を、旧校章・校歌も含めて一冊にまとめた『地域と共に受け継がれる文化』を刊行しました。市内の学校のほか図書館にも配布いたしましたので、ご覧ください。(文化スポーツ課)

中央公民館
高幡台分室が充実！

平成16年4月に旧高幡台小学校(現日野市教育センター)に中央公民館の高幡台分室が設置されてから5年が経過しました。この間、皆様の自主的な学習活動に対して貸し館的な役割を担ってまいりましたが、公民館事業の拡充を図るために、この4月から3名の常勤職員を配置しました。これからは浅川以南の教育・

文化活動の拠点として皆様の多様な学習要望に応じた生涯学習・社会教育のカリキュラムを組み、人や仲間との出会い、趣味や教養、生きがいとの出会いを創出し、コミュニティの形成、自主サークル活動のサポート等のさらなる充実を図っていききたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

新しい職員の紹介

中島和彦
瀧口英彦
小澤賢二

日野市デジタルミュージアムの公開

日野市デジタルミュージアムは、市が所蔵する美術品や、歴史・考古・民俗・自然等の資料のほか、市内の文化財等をホームページ上で公開し、市民の皆さんにご覧いただくものです。本年3月からは、その第一段階として、日野市が所蔵する美術品の公開を始めました。公開作品は、小島善太郎「三多摩秋景」、「百草梅林春の団圓(共に油彩)」、斉藤紅一「天と地と」(油彩)、倉田三郎「不盡山」(油彩)など、洋画、日本画、彫刻等34点です。日野市ホームページまたは

http://www.museum.city.hino.tokyo.jp/からアクセスできます。ぜひご覧ください。(文化スポーツ課)



小島善太郎「三多摩秋景」

